

NY マーケットレポート (2018年5月21日)

2018年5月21日(月)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	23002.37	+72.01	1.04%
ハンセン指数	31234.35	+186.44	4.40%
上海総合	3213.84	+20.54	-2.82%
韓国総合	2465.57	+4.92	-0.08%
豪ASX200	6084.49	-2.87	0.32%
インドSENSEX	20523.37	-140.87	0.31%

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	111.36	111.40	110.82
EUR/JPY	130.58	130.87	130.38
GBP/JPY	149.31	149.65	149.11
AUD/JPY	83.70	83.74	83.35
NZD/JPY	76.71	76.86	76.53
EUR/USD	1.1726	1.1771	1.1721

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7859.17	+80.38	2.23%
仏CAC40	5637.51	+23.00	6.12%
独DAX	休場		
スペインIBX35	10066.50	-45.90	0.23%
イタリアFTSE MIB	23092.38	-357.27	5.67%
南ア全株指数	57821.20	+16.87	-2.83%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1290.90	-0.40	-0.8%
NY 原油	72.24	+0.96	20.0%
COBTコーン	402.75	+0.25	14.8%
CRB指数	205.69	+2.002	6.1%
ドル指数先物	93.677	0.040	1.7%
VIX指数	13.08	-0.34	19.0%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	25013.29	+298.20	1.19%
S&P500	2733.01	+20.04	2.22%
NASDAQ	7394.04	+39.70	7.11%
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
トロント総合	休場		
ボルサ指数	45305.02	-361.75	-8.20%
ボベスパ指数	81815.31	-1266.57	7.09%

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	111.00	111.33	111.00
EUR/JPY	130.91	131.00	130.59
GBP/JPY	149.08	149.51	148.82
AUD/JPY	84.19	84.21	83.76
EUR/USD	1.1794	1.1795	1.1743

*カナダ市場はVictoria Day で休場 *一部暫定値

5/22 経済指標スケジュール

- 14:00 【日本】4月全国スーパー売上高(前年比)
- 16:00 【スイス】4月マネーサプライM3(前年比)
- 16:00 【南アフリカ】3月景気先行指標
- 16:30 【スウェーデン】4月失業率
- 17:30 【英国】4月公共部門純借入所要額[PSNCR]
- 17:30 【英国】4月公共部門純借入額[除金融介入]
- 19:00 【英国】5月CBI企業動向調査
- 21:30 【カナダ】3月卸売上高
- 22:00 【メキシコ】3月小売売上高
- 23:00 【米国】5月リッチモンド連銀製造業指数

5/22 主要会議・講演・その他予定

- ・米韓首脳会談
- ・米2年債入札

Crypto Currency	本日	前日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	8420	8225
CME Bitcoin(先物・期近)	8415	8215
Ripple (BSTP)	0.676	0.679
Ethereum (BSTP)	697.81	687.45
Bitcoin Cash	1237.78	1206.00

*USD 6:00時点

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.132%	-0.135%
5年債	-0.099%	-0.098%
10年債	0.059%	0.061%
30年債	0.761%	0.765%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.523%	0.579%
英国10年債	1.476%	1.500%
フランス10年債	0.820%	0.830%
米国債利回り		
2年債	2.566%	2.547%
3年債	2.729%	2.713%
5年債	2.895%	2.888%
7年債	3.013%	3.010%
10年債	3.060%	3.056%
30年債	3.202%	3.197%

NY 市場レポート

<< NY 市場概況 >>

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表が無く、新規材料に乏しい中、米長期金利が伸び悩んだことが材料視され、ドルはやや上値の重い動きとなった。また、ユーロは引き続きイタリア政局に対する警戒感を背景に軟調な動きとなった。ただ、米中貿易摩擦の懸念が後退したこと、米主要株価が堅調な動きとなったこともあり、下値は限定的となった。一方、原油価格が3年半ぶり高値となったことが好感され、豪ドル、カナダ・ドルなど資源国通貨が大きく上昇した。

米要人発言

ムニューシン米財務長官

- ・ ZTE への規制執行、変更の可能性検討中
- ・ 長期的に強いドルは米国にとって良いこと

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・ 速すぎる利上げは適切ではない
- ・ 賃金の伸びはまだ加速していない
- ・ 労働市場にはまだスラックがあるかもしれない
- ・ 景気悪化の可能性の兆候として利回り曲線を注視
- ・ 利回り曲線は年末までにフラット化も

クドロー米国家経済会議 (NEC) 委員長

- ・ 強いドルは投資呼び込む、安定のもよう
- ・ 米国産 LNG を中国に輸送する
- ・ ドルは安定しているようだ、強いドルは投資を呼び込む
- ・ 安定とは、世界中が米国に投資することを意味する

ボスティック・アトランタ連銀総裁

- ・ 全てを考慮すると、経済は軌道に乗っていると認識しており、インフレと雇用の両方で責務に整合する結果が近づいていると考える
- ・ インフレ指標が事実上すでに目標に達したことを踏まえると、より長期の目標を若干上回ったところで私は驚かない
- ・ 金融緩和策の漸進的な解除がさらに進んでも、インフレはしばらく 2% をやや上回る公算が大きい
- ・ 何らかの形の柔軟な物価水準ターゲティングはそうした枠組みの一部になり得ると思う
- ・ 自身のモデルに基づけば年内の利上げは「あと 2 回」、今後の経済情勢次第でその見通しは変わり得る
- ・ 失業率は 3.9% だ。これは極めて低い水準、労働市場にどの程度スラックがあるかは議論の余地がある

ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁

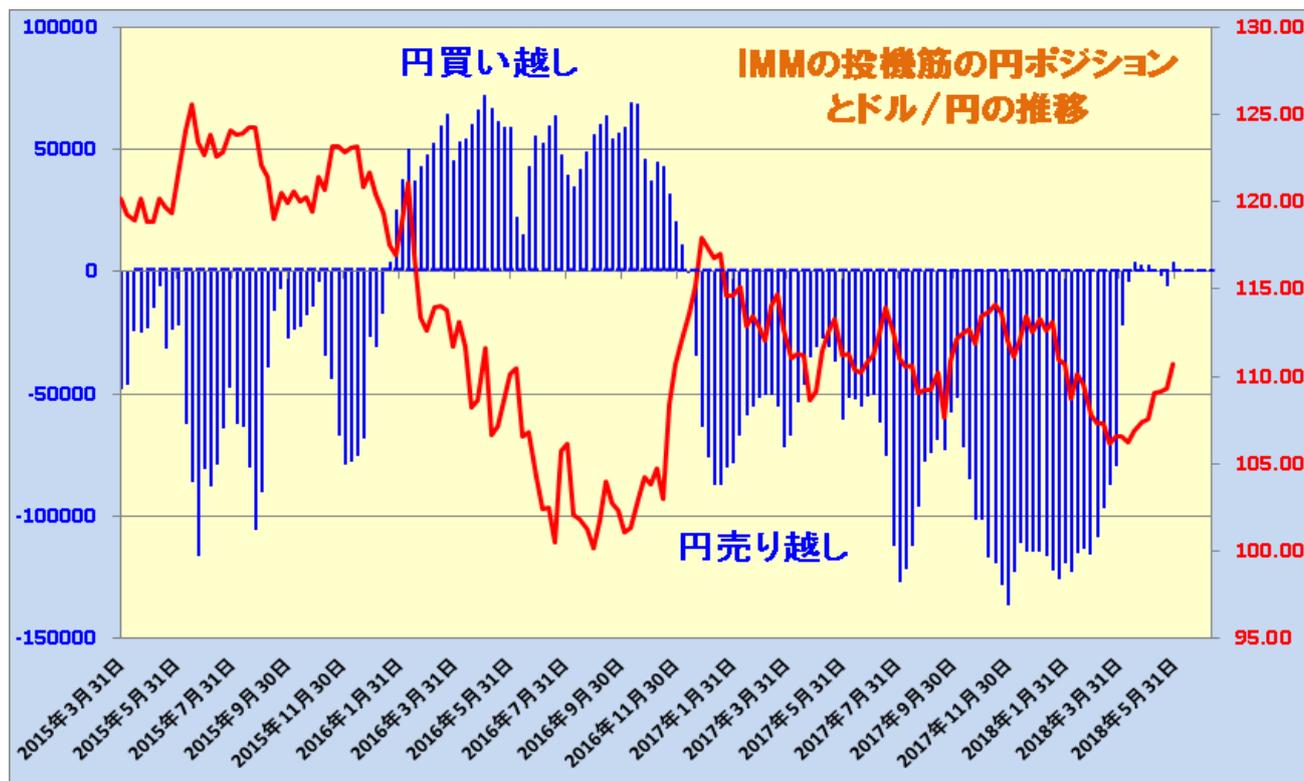
- ・ インフレ加速なら今年あと 3 回の利上げ支持も
- ・ 利上げを急ぐ必要はない
- ・ インフレの急加速は見られず、その兆候さえもまだ認められない
- ・ 政策金利は中立水準からあまり遠くないとみており、この水準に達すれば一旦利上げを停止したい
- ・ 総じて平均すれば、経済はちょうどうまくいっている
- ・ 2018 年全体で 3 回の利上げを予想していたが、物価上昇が加速した場合は 3 月の利上げに加えて 3 回の追加利上げを支持する可能性
- ・ 労働市場にはあまりスラックがない
- ・ 思慮深く金利を上げることが適切だと思う

ドル売り越し 約3ヵ月ぶりの低水準

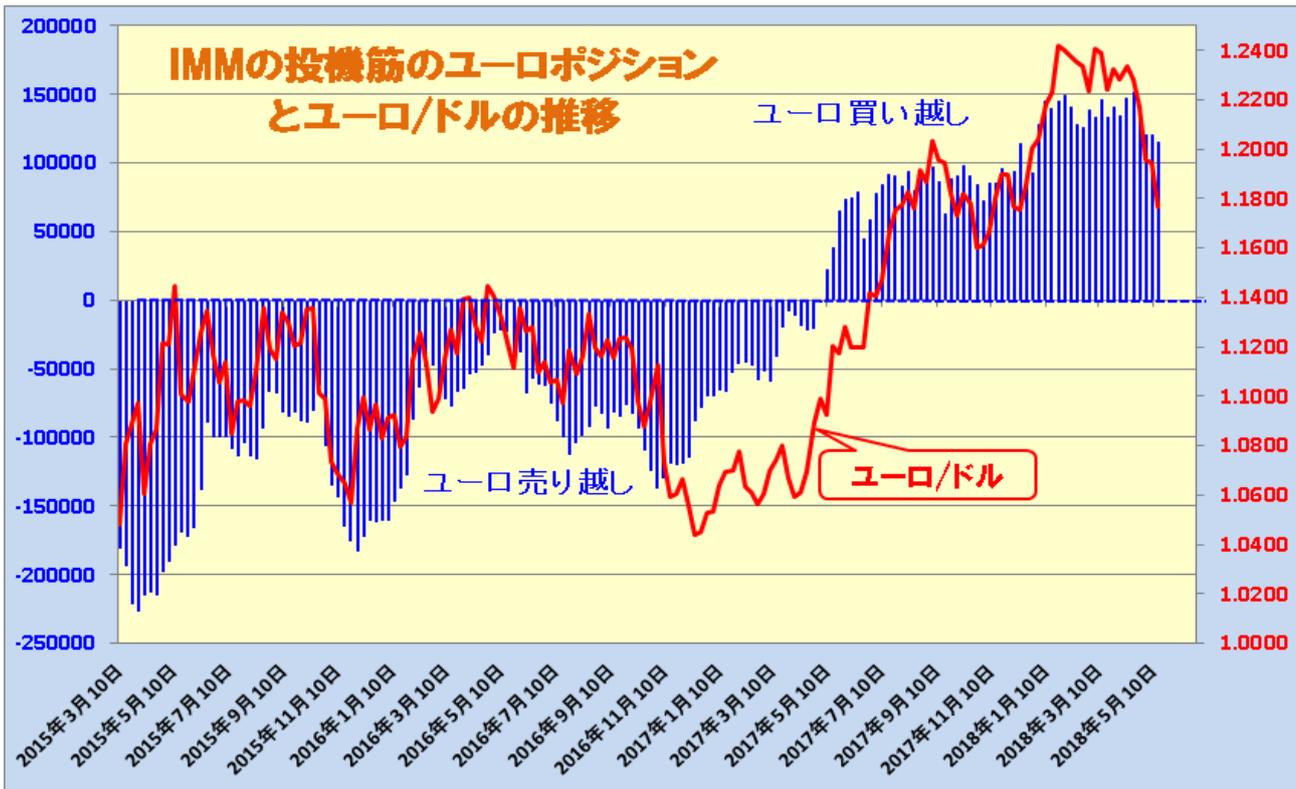
CFTC（米商品先物取引委員会）における IMM 投機部門の取組（5/15 までの週）では、ユーロの買い越しが 11 万 5114 枚（前週 12 万 0505 枚）となり、12 月末以来の低水準となった。

ドルの主要 6 通貨（円、ユーロ、ポンド、スイス・フラン、カナダ・ドル、豪ドル）に対する売り越し額は 98 億 2000 万ドル（前週 108 億 4000 万ドル）と 4 週連続で減少し、12 週間ぶりの低水準となった。一方、ニュージーランド・ドル、メキシコ・ペソ、ブラジル・レアル、ロシア・ルーブルを含めた 10 通貨に対する売り越し額は 110 億 2000 万ドル（前週 133 億 1000 万ドル）となり、4 ヶ月ぶりの低水準となった。

円のポジションは前週まで 2 週連続で売り越しだったが、今週は買い越しに転換した。また、豪ドルの売り越しは 2016 年 2 月以来の高水準、ポンドの買い越しは引き続き減少となった。



出所：CFTC データを基に SBILM が作成



出所：CFTC データを基に SBILM が作成

米ダウ平均は、約 2 カ月ぶりに 25000 ドル台を回復

米株式市場は、米中貿易摩擦に対する懸念が後退したことで、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 371 ドル高まで上昇した。その後は上げ幅を縮小したものの、3 月半ば以来、約 2 カ月ぶりに 25000 ドル台を回復して終了した。また、ナスダック、S&P500 は反発となった。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	資本財	1.85%	1	ユナイテッドT	2.28%
2	素材	1.57%	2	キャタピラー	2.06%
3	通信サービス	1.45%	3	GE	1.94%
4	石油・ガス	1.19%	4	DowDuPont	1.57%
5	テクノロジー	1.02%	5	インテル	1.53%

出所：データを基にSBILMが作成

ドル/円はやや上値の重い動きが続く

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表が無く、新規材料に乏しい中、米長期金利が伸び悩んだことが材料視され、ドルはやや上値の重い動きとなった。ただ、米中貿易摩擦の懸念が後退したこと、米主要株価が堅調な動きとなったこともあり、下値は限定的となった。また、ユーロも、引き続きイタリア政局に対する警戒感を背景に上値の重い動きとなった。一方、NY 原油価格が2014年11月以来約3年半ぶりの高値となったことが好感され、豪ドル、カナダ・ドルなど資源国通貨が大きく上昇した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。